【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2010-194136(P2010-194136A)
【公開日】平成22年9月9日(2010.9.9)
【年通号数】公開・登録公報2010-036
【出願番号】特願2009-43284(P2009-43284)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４

【手続補正書】
【提出日】平成24年2月23日(2012.2.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
制御基板と、当該制御基板を収容する基板ボックスとを備えるとともに、
前記基板ボックスが、当該基板ボックスのうち前記制御基板を収容するボックス本体部の外側に当該ボックス本体部を封印する封印手段を備え、当該ボックス本体部から前記封印手段を切離すことにより開封可能となる遊技機であって、
前記ボックス本体部は、
第１構成部材と第２構成部材とからなり、
前記封印手段は、
前記第１構成部材の外側に突出形成されかつ内側に連通した中空の第１連結部と、前記第２構成部材から突出形成された第２連結部とからなり、
前記第１構成部材と前記第２構成部材とを組付けるにあたり、前記第２連結部が前記第１構成部材の内側から前記第１連結部の内部に挿し込まれ、当該第１連結部の内部に設けられた第１係合部と、前記第２連結部に設けられた第２係合部とが係合する構成となっていることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記第１連結部は、第１切離部を介して第１構成部材に一体形成され、
前記第２連結部は、第２切離部を介して第２構成部材に一体形成され、
前記第１切離部と前記第２切離部とが重畳して配設されることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記第１切離部及び前記第２切離部は、断面略Ｌ字状又は凹字状に重畳する範囲を有することを特徴とする請求項２に記載の遊技機。